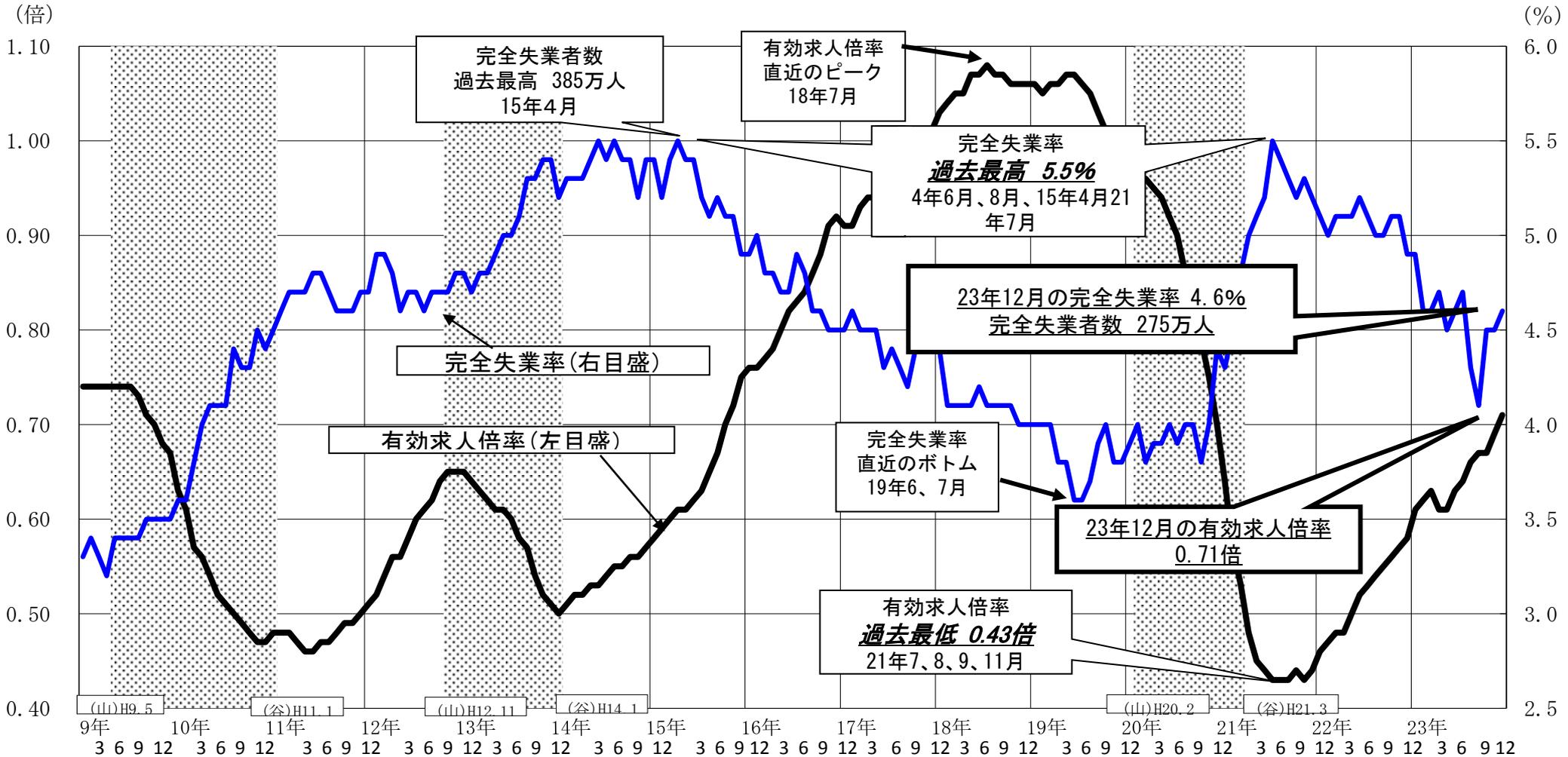


現在の雇用情勢

—一部に持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい状況にある—

- 完全失業率は、12月は **4.6%**。
- 有効求人倍率は、12月は **0.71倍**と前月より**0.02ポイント**改善。
- ハローワークを訪れる**事業主都合離職者**（新規求職者数）は、**前年同月比14.0%の減少**。
- 日銀短観の雇用人員判断（「過剰」-「不足」）は、9月の雇用過剰感は弱まっている。
（9月→12月 全産業：**+3**→**+2** ※直近のピークは2009年3月の+23）
- 12月の雇用保険の受給者数は前年同月比**5.0%減**の**57.7万人**。



(資料出所) 総務省「労働力調査」、厚生労働省「職業安定業務統計」

※シャドー部分は景気後退期、直近の景気の谷は暫定的に設定。

(注)平成23年3月～8月の完全失業率、完全失業者数は岩手県、宮城県及び福島県を除いた結果であるが、9月以降は一部調査区を除いた全国の調査結果であるため、単純に比較することはできない。